

お守りに「貫通石」を

北秋田市の薬師山スキー場で配布

今泉第一トンネルから採取 受験や安産に

県公立高校前期選抜(27日)を前に、日沿道二ツ井今泉道路・今泉第一トンネル(797㍎)の工事現場で出た「貫通石」が北秋田市薬師山スキー場で配布されている。貫通石は古くから安産のお守りなどとして珍重されてきたが、難関

突破」や「初志貫徹」を象徴しているともされ、「合格祈願」のお守りとして来場者が関心を寄せて持ち帰っている。

今泉第一トンネルは、日沿道二ツ井今泉道路を構成する三つのトンネルのうちの一つで、昨年12月24日に

貫通した。

トンネル工事の貫通点から採取された岩石は「貫通石」として、危険や困難を乗り越える象徴としても捉えて、古くからお守りとして珍重されてきたという。貫通日は薬師山スキー場の今シーズンの営業開始日と重なったことから、スキー場を運営する北秋田市の今泉自治会(簾内順一会長)が、工事を請け負っている大豊建設と国交省能代河川国道事務所から貫通石の提供を受けて同スキー場ヒュッテで無料配布したところ、スキー場を訪れた子どもたちやその保護者の注目



今泉第一トンネルの貫通点から採取された「貫通石」



が集まった。当初は100個の提供を受けたが、人気があるためその後に100個追加。同

スキー場は能代山本地域からの利用者も多く、簾内会長は「時期的に入試の季節で、関心が高いようだ。合

格祈願はもちろんだが、安産祈願などのお守りとして手にしてほしい」と話している。